

北海道胆振東部地震から3年

3年前の2018年9月6日3時7分、北海道胆振地方中東部を震源とした地震が発生しました。留萌市でも震度4を観測し、地震による大規模停電「ブラックアウト」に陥り、市内全域復旧まで約40時間の時間を要しました。

市内では、停電により住家はもちろん信号機などの交通機能も停止し、警察による手信号により交通機能を維持していました。また、市内のコンビニ・スーパー・ガソリンスタンドでは、食料や飲み物、ガソリンなどを求めて人々が殺到しました。



▲手信号で誘導する警察官



▲食料などを求める市民

この経験を教訓とし、「もしものとき」のために備えましょう

①食料や飲料水、生活必需品は、日頃から3日分を備蓄

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備え、飲料水や保存の効く食料（缶詰・アルファ化米・レトルト食品など）を、日頃から備蓄しておきましょう。1日に必要な飲料水は、1人3リットルが目安です。食料は、普段の生活でも消費できる缶詰やレトルト食品がお勧めです。また、風呂の水を取っておくと、生活用水として使用することができます。

なお、トイレトペーパーやティッシュペーパー、カセットコンロおよびカセットボンベなどの生活必需品は、日頃から小まめに買い置きをしておくことが大切です。

②電気に頼らない暖房機器や毛布などで、厳冬期災害の備えを

冬に災害が発生し、ライフラインがストップした場合、電気で稼働する暖房機器は機能しません。その場合に備え、灯油ストーブなどの電気に頼らない暖房機器のほか、毛布やカイロなどを防寒対策として備えておくことで、寒さをしのぐことができます。

また、身体を温めるには、温かい食事をとることも大切です。カセットコンロおよびカセットボンベを備蓄しておくといいでしょう。

問 市・危機対策室 ☎ 56-5005

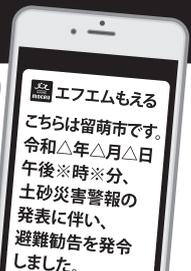
スマホからエフエムもえるが聴ける!



一般社団法人日本コミュニティ放送協会(JCBA)公認
防災通知機能付ラジオアプリ
Radimo
(レディモ) 課金なし! ダウンロード無料!



もしもの備えに
安心を!



24時間、365日放送中! ※一部インターネットで放送されない番組もありますのでご了承ください。詳しくはエフエムもえるへ! TEL 0164-42-3871